



武蔵ヶ丘フライド

武蔵ヶ丘中学校だより

6月号

発行：校長・中尾幸治

**※6月23日「沖縄慰霊の日」～命の大切さを知り、自分の暮らしを振り返りましょう！
…忘れてはならない！過去に日本が戦争をしたこと、多くの命が奪われたこと、「命どっ宝！」**

沖縄戦終結から77年。「慰霊の日」を迎えた23日、20万人余の戦没者をしのび「沖縄全戦没者追悼式」が糸満市摩文仁の平和祈念公園で開催されました。平和宣言を読み上げた玉城デニー沖縄県知事は「忌まわしい戦争の記憶を風化させないため、沖縄戦の実相や教訓を次の世代に正しく伝えていく」と強いメッセージを国内外に発信しました。沖縄県内各地でも早朝から慰霊祭が行われ、非戦の継承を誓い慰霊碑に刻んだ恒久平和の願いがあらためて確認されました。

また、追悼式に参加した岸田首相は挨拶で、戦没者に対する哀悼の意を表しました。そして、「沖縄戦では20万人もの尊い命が失われ、沖縄の美しい自然、豊かな文化は容赦なく破壊された」として、「私たちが享受している平和と繁栄は、貴い犠牲と、苦難の歴史の上にある」と述べました。

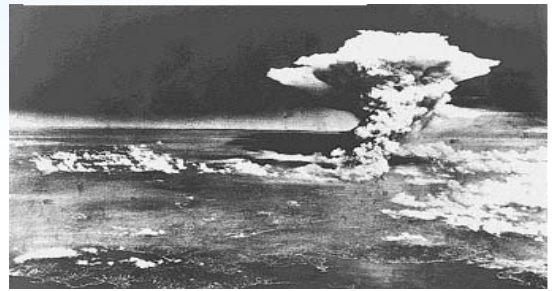
「戦争」は、人権侵害の最たるものです。しかし、今もなお戦禍の中でくらす人々がいます。私たちのくらす国は、行為としての戦争はしていませんが、けっして人ごとではありません。今、世界で起こっている「戦争行為」について、あなた方中学生も自分の意見を持つことが大切です。そして、その根底に「命の大切さ」や「多様性を尊重すること」「人種や信条を超えて地球人としてつながること」などを大切にしてほしいと願います。夏休み中には、原子爆弾が投下された8月6日（広島）、8月9日（長崎）といった大切な日を迎えます。また、日本においては8月15日が終戦記念日（終戦の日）です。ぜひ、家族などいろいろな人と、平和や自分たちのつくりたい社会、家族や命の大切さなどについて話す機会を持ってほしいと思います。〈前段は、琉球新報より引用〉



「鉄の暴風」と言われる日本機に対する対空砲火



米兵から水を飲ませてもらう少女



広島に投下された原爆・爆発直後の温度は、数百万度！

学校運営協議会(第1回)を開催しました！

※地域のみなさんと…豊かな学びと安心安全な環境整備に取り組みます！

去る6月13日（月）、本年度第1回の学校運営協議会を開催しました。昨年度の引き続き園田秀明様に会長をお引き受けいただき、安心・安全部会、いじめ不登校部会、地域連携部会の三部会で活動していきます。

また、協議会の運営や7月に予定している3年生の職場体験学習などにおいては、地域協働活動推進員の山下英代様が大変お世話になっていきます。

今後、感染症が収まれば、生徒が地域に出て、地域を元気にする活動に取り組んでいけたらと考えております。

お世話になります。



菊陽町「子ども議会」 菊陽中・武蔵ヶ丘中合同実行委員会準備進む！

8月9日（火）に行われる予定の菊陽町「子ども議会」の準備が着々と進んでいます。「子ども議会」は、菊陽町の現在及びこれからの在り方について、中学生ならではの視点を大事にして課題を見つけ、議案書（質問や提案など）を作成・提出し、実際に菊陽町行政当局に答弁を求めることを通してよりよい菊陽町づくりを具現化しようとするものです。

本校からは、生徒会長の太田黒輝空さんをはじめ、生徒会執行部の7名が参加しています。菊陽中の生徒会執行部とチームを組み、これまで2回の実行委員会を開催しました。生徒のみなさんにも、生徒総会の後にアンケートにご協力いただきました。それらの意見をもとに実行委員会で議案書を作成し、実際に菊陽町議会が開催されている議場での「子ども議会」本番に臨みます。議会の様子などは、またみなさんにお知らせしたいと考えています。どうぞご期待ください。

